

TELOP BOX

for HDMI

送出ソフトマニュアル

NIXUS
passion for innovation

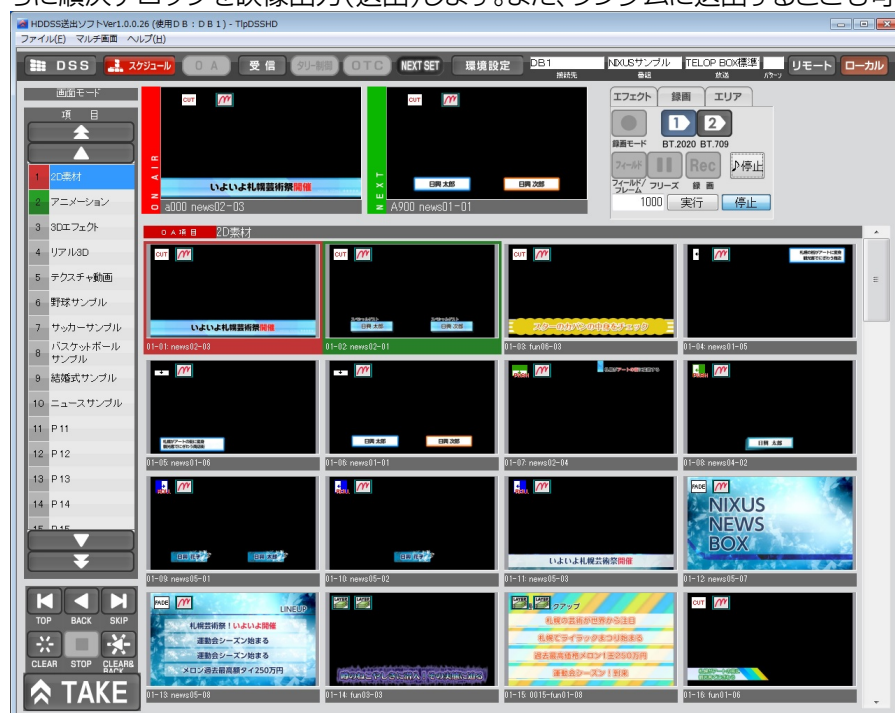
日興通信株式会社
2.0 版(2019/08)

目 次

1. 送出ソフトとは.....	3
2. 送出ソフトの画面.....	4
2.1. 番組／放送選択画面	4
2.2. 送出画面.....	5
2.3. 送出ソフトのアイコンについて	11
2.3.1. テロップの種類アイコン.....	11
2.3.2. テロップのエフェクトアイコン	12
3. 送出ソフトを使ってみよう	13
3.1. スケジュールに保存されたテロップの送出.....	13
3.1.1. 番組選択.....	13
3.1.2. オンエア	14
3.1.3. テロップを飛ばしてオンエアしたい場合.....	15
3.2. グローバルアドレスに保存されたテロップの送出	17
3.2.1. DSS(グローバルアドレス)送出モード.....	17
3.2.2. アドレスを切り替える.....	18
3.2.3. オンエア	18
3.2.4. グローバルアドレスを直接入力してオンエア	18
3.3. 自動オンエア	19
3.4. 送出ソフトを終了する.....	19
4. 改訂履歴.....	20

1. 送出ソフトとは

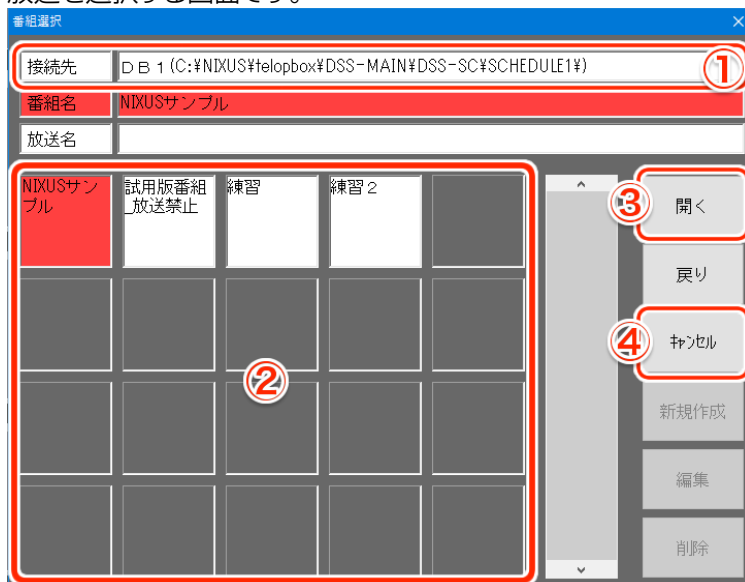
送出ソフトは、スケジュール登録ソフトで作成した番組を開き、スケジュール登録ソフトで並べた通りに順次テロップを映像出力(送出)します。また、ランダムに送出することも可能です。



2. 送出ソフトの画面

2.1. 番組／放送選択画面

送出ソフトを起動した時、または【スケジュール】ボタンをクリックした時に表示される、番組／放送を選択する画面です。



① 接続先

テロップの保存先は複数のデータベースに分けることができます。どのデータベースの番組を表示するか、データベース(接続先)を選択するエリアです。通常は初期設定で設定されているデータベースに設定されています。

② 番組／放送選択

選択したデータベース(接続先)に保存されている番組の一覧が表示されます。番組はアスキーコード順(半角数字→半角英字→全角)に表示されます。

③ 開く

番組／放送選択で選択した番組を開きます。

④ キャンセル

クリックすると、番組／放送選択をキャンセルします。

2.2. 送出画面

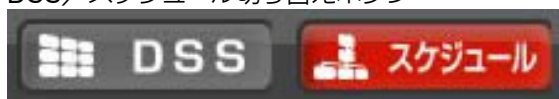
放送選択画面で番組を選択した後に操作する、送出ソフトのメイン画面です。



① ツールバー

設定や表示の切り替えなどのボタンが表示されます。

1. DSS／スケジュール切り替えボタン



送出するテロップを DSS(グローバルアドレス)の中から選択して放送するか、作成した番組(スケジュール)を開いて順次放送するかを切り替えるためのボタンです。【DSS】ボタンをクリックするとオンエア項目上にグローバルアドレスの A000 からのテロップを表示し、選択することで NEXT にセットされます。

【スケジュール】ボタンをクリックすると、放送選択画面が表示され、新たに番組を選択し直すことができます。

2. オンエアインジケータ ※上位機種のための項目です。TELOP BOX では使用しません。



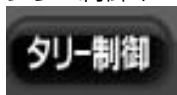
オンエアタリ-を受信した時に赤く点灯します。

3. 受信ボタン



送出ソフトは、他のソフトでテロップを登録／修正／削除した際に自動で情報を更新しますが、なんらかのトラブルで自動更新がされなかった場合に、クリックすることで手動で最新の状態に更新できます。

4. タリー制御インジケータ ※上位機種のための項目です。TELOP BOX では使用しません。



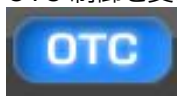
タリー制御を受けるモードに設定されている場合にこのインジケータが点灯します。



5. OTC インジケータ ※上位機種のための項目です。TELOP BOX では使用しません。



OTC 制御を受けるモードに設定されている場合にこのインジケータが点灯します。

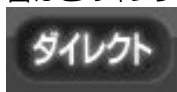


6. NEXT SET／ダイレクト送出モードインジケータ



項目内のテロップを選択した際に、ネクストとするか、オンエアとするかを変更することができます。

テロップを選択した時にネクストテロップとする場合はこのインジケータが「NEXT SET」モードと表示されます。テロップを選択した時にオンエアテロップとして即座に放送する場合はこのインジケータが「ダイレクト」モードと表示されます。



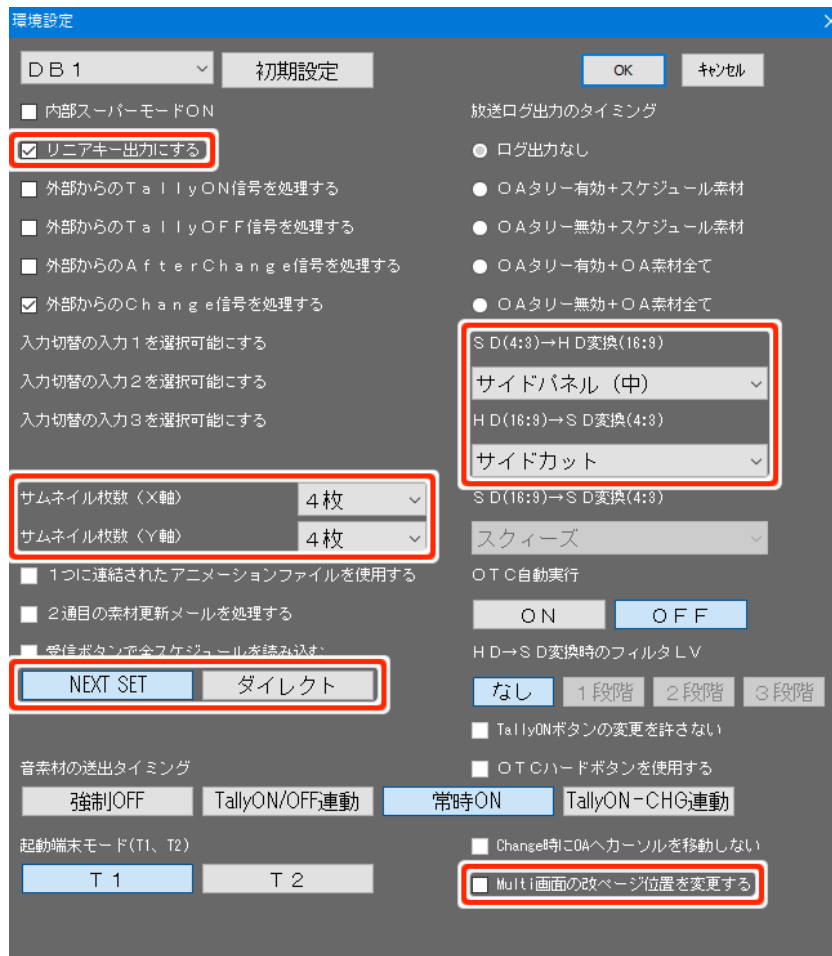
設定を変更したい場合は、ツールバーの【環境設定】ボタンから変更することができます。

7. 環境設定ボタン



クリックすると環境設定ウィンドウが表示され、設定を変更できます。この変更はソフトウェアを終了するまで有効です。ソフトウェアを終了したときはリセットされ、次回起動時にはデフォルトの設定になります。

※環境設定には、上位機種のための項目も用意されています。以下は TELOP BOX で使用する項目のみ記載しています。



- ・ リニアキー出力にする
チェックをオフにすると、セルフキーでの出力になります。
- ・ サムネイル枚数(X 軸)／(Y 軸)
サムネイル表示をする際に、1 画面に横に何枚、縦に何枚表示するかを設定する項目です。
- ・ NEXT SET／ダイレクト
NEXT SET モードで送出するか、ダイレクトモードで送出するかを変更できます。ダイレクトモードはテロップのサムネイルをクリックすると送出します。
- ・ SD(4:3)→HD 変換(16:9)
SD(4:3)のテロップを HD(16:9)で放送する際にどのように変換するかを「変換なし」「フルサイズ」「サイドパネル(左)」「サイドパネル(中)」「サイドパネル(右)」「上下カット」「14:9」「13:9」から選択することができます。
- ・ HD(16:9)→SD 変換(4:3)
HD(16:9)のテロップを SD(4:3)で放送する際にどのように変換するかを「レターボックス(中)」「レターボックス(上)」「レターボックス(下)」「サイドカット」「14:9」「13:9」から選択することができます。
- ・ Multi 画面の改ページ位置を変更する
マルチ画面時、オンエア項目のスクロールは通常最後の 1 枚のテロップがオンエアされた

際にスクロールされますが、このチェックをオンにすることにより、最後の表示行にオンエアテロップが移った際に 1 行スクロールアップする設定に変更できます。

8. 接続先



現在開かれている番組の階層を表示します。

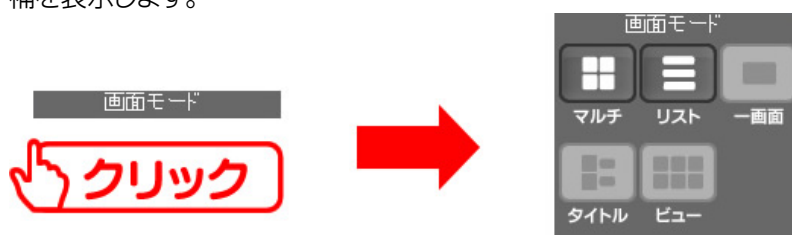
- ・ リモート／ローカル設定ボタン ※上位機種のための項目です。TELOP BOX では使用しません。



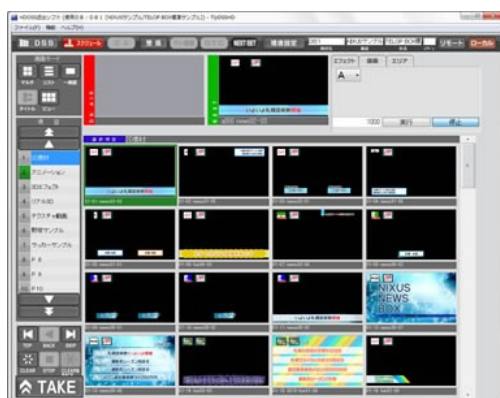
APC との連動を行う際に、切り替えを行います。

② 画面モード

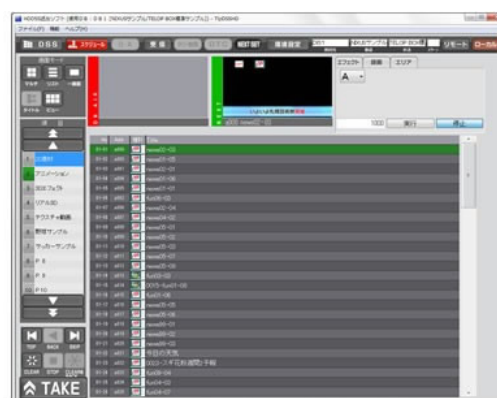
オンエア項目、ネクスト項目の画面の表示方法を、マルチ表示／リスト表示から選択することができます。起動時は非表示になっていますが、【画面モード】という文字をクリックすることで、候補を表示します。



マルチ	オンエア項目、ネクスト項目に保存されているテロップをそれぞれタイトル付サムネイルで表示するモードです。
リスト	オンエア項目に保存されているテロップをリスト表示するモードです。



マルチ



リスト

③ 項目

スケジュール登録ソフトで作成した項目(コーナー)を表示します。



ボタンで、1 行ずつスクロールします。

ボタンで、1 画面ずつスクロールします。

項目名の左側の数字は、項目の通し番号です。また、数字の背景が赤色になっている項目が現在オンエアしている項目、緑色の項目がネクストの項目です。項目名をクリックすると選択した項目のテロップがオンエア項目を表示します。

④ コントロールエリア

操作卓のようにテロップを順次切り替えたり、アニメーションを停止したりという基本的な操作をするボタンが並ぶエリアです。

- ・ TOP



現在開いている番組の最初の項目の1枚目のテロップをネクストテロップに設定します。オンエア画面はクリアされます。

- ・ BACK



オンエアテロップを1つ前のテロップに設定します。

- ・ SKIP



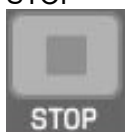
ネクストテロップを1つ後のテロップに設定します。

- ・ CLEAR



オンエアテロップをクリアして黒みにします。

- ・ STOP



現在オンエアしているテロップがアニメーションや動画、エフェクト付きの場合、その動作を停止します。

- ・ START



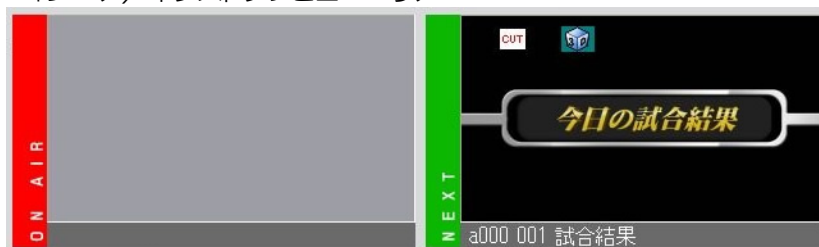
現在オンエアしようとしているテロップがアニメーションや動画、エフェクト付きの場合、その動作をスタートさせます。

- ・ TAKE



ネクストテロップをオンエアテロップにします。

⑤ オンエア／ネクストプレビューエリア



オンエアしているテロップとネクストテロップのサムネイルを表示します(あくまで識別するためのサムネイルですので、実際に映像信号から出ているものとは異なります)。

⑥ 編集タブ

送出ソフト上で、エフェクトを変更したり、キャプチャ操作をしたり、DSS エリアを変更することができるエリアです。また、自動でオンエアを行う自動送出設定が行えます。

※DSS 送出モードのみ送出できます。

※上位機種のための項目です。TELOP BOX では自動実行機能と【エリア】タブのみ使用できます。

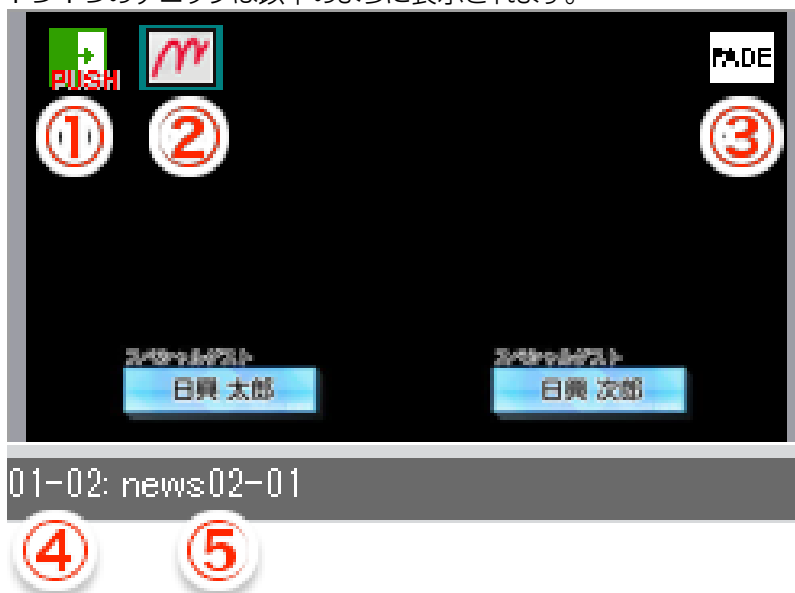


⑦ オンエア項目／ネクスト項目エリア

オンエア項目ではオンエアする項目のテロップが表示されます。NEXT SET モードの場合、サムネイル、またはリストをクリックすることで、選択したテロップをネクストテロップとして設定します。

ダイレクトモードの場合、クリックしたテロップを即座にオンエアに反映します。

1 つ 1 つのテロップは以下のように表示されます。



- ① IN エフェクト
- ② テロップの種類
- ③ OUT エフェクト
- ④ 選択項目の通し番号
- ⑤ タイトル

2.3. 送出ソフトのアイコンについて

送出ソフトには、それぞれのテロップがどのような種類なのか、どのようなエフェクトが設定されているのかをサムネイル上に表示しています。アイコンには、以下のような種類があります。

2.3.1. テロップの種類アイコン

				
静止画	アニメーション	長尺ロール	レイヤー	リアル 3D

2.3.2. テロップのエフェクトアイコン

			
カット	フェード	カスタムスライド	
			
ワイプ右	ワイプ左	ワイプ下	ワイプ上
			
ロール右	ロール左	ロール下	ロール上
			
プッシュ右	プッシュ左	プッシュ下	プッシュ上

3. 送出ソフトを使ってみよう

3.1. スケジュールに保存されたテロップの送出

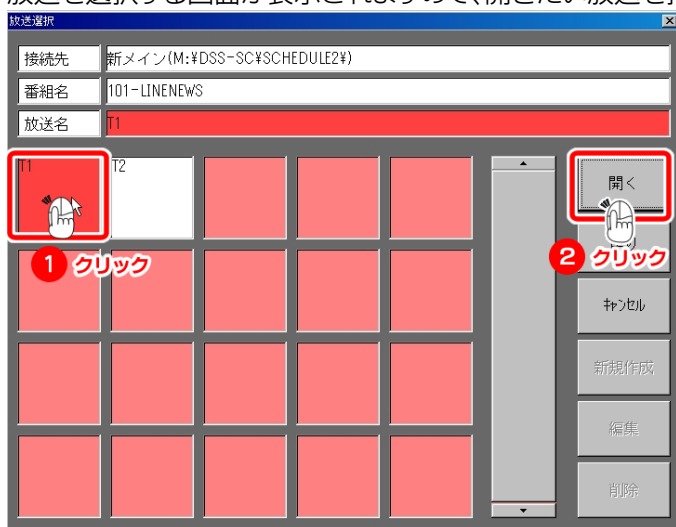
3.1.1. 番組選択

送出ソフトを起動すると、自動的にスケジュール選択画面が表示されます。すでに送出ソフトを起動している場合は【スケジュール】ボタンをクリックしてください。

番組を選択する画面が表示されますので、開きたい番組を指定して【開く】をクリックします。



放送を選択する画面が表示されますので、開きたい放送を指定して【開く】をクリックします。



選択した放送が開かれます。

3.1.2. オンエア

番組を開いた時点で、番組に保存されている1項目の1番目のテロップをネクストテロップとしてスタンバイします。



【TAKE】ボタンをクリックすると、ネクストテロップがオンエアに切り替わります。



テロップをオンエアすると、静止画テロップの場合はすぐに映像出力されますが、アニメーション

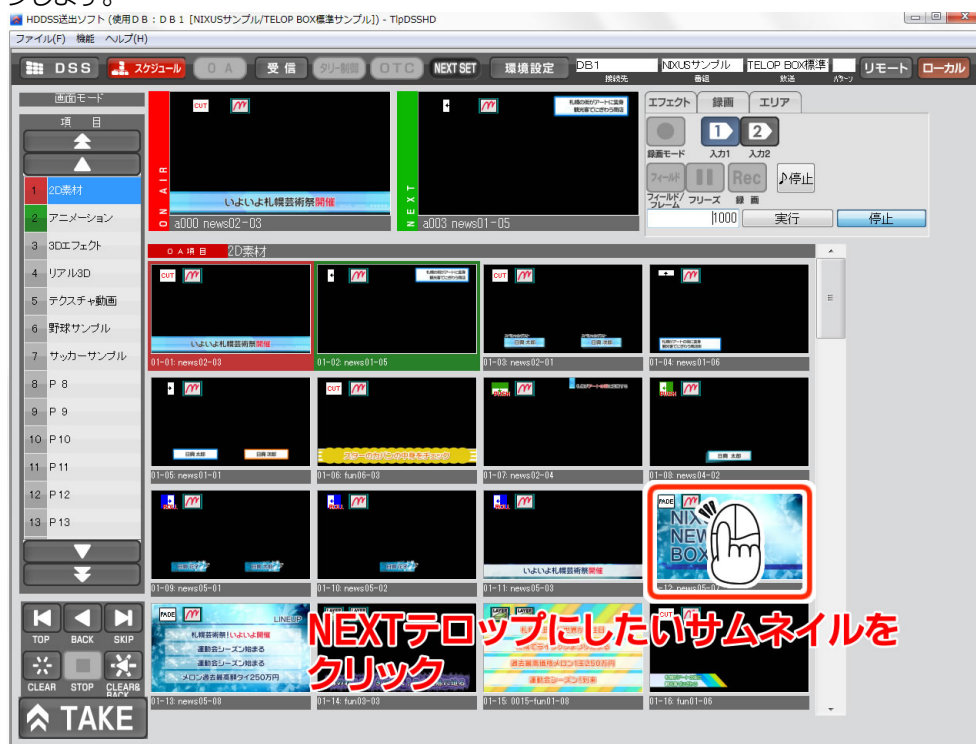
ンやエフェクト、動画、3D などのテロップは黒みのままスタンバイ状態になります。

その場合は【TAKE】ボタンをクリックすることで、エフェクトがスタートします。

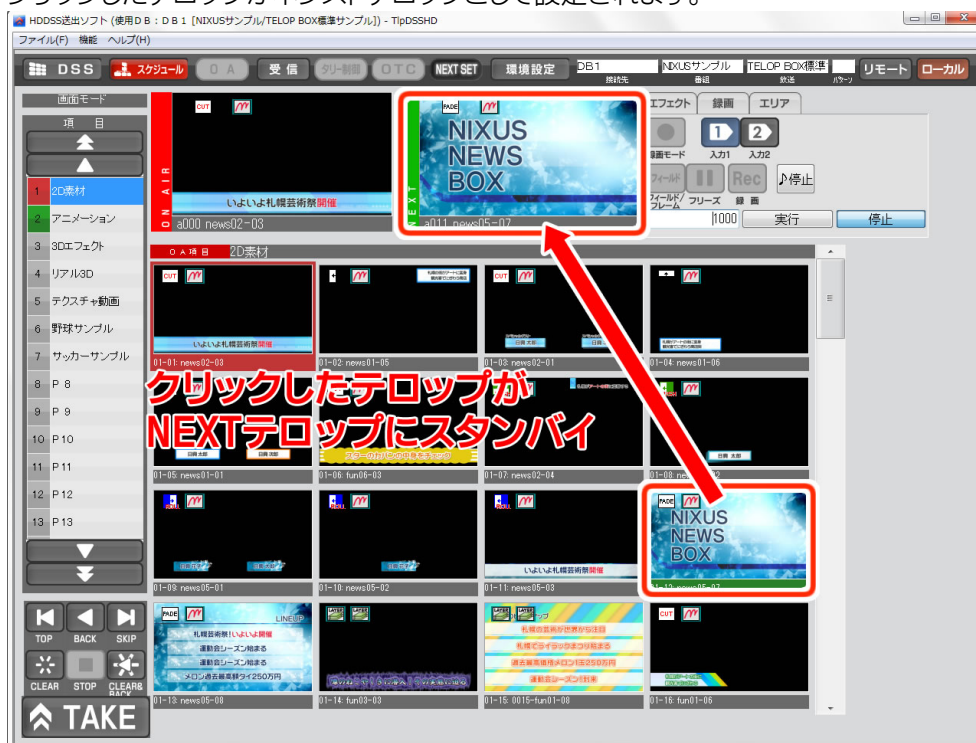


3.1.3. テロップを飛ばしてオンエアしたい場合

順番にオンエアしていく場合は、【TAKE】ボタンをクリックするだけで進んでいきます。NEXT SET モードで、途中でテロップを飛ばしたい場合は、ネクストテロップにしたいテロップをクリックします。



クリックしたテロップがネクストテロップとして設定されます。



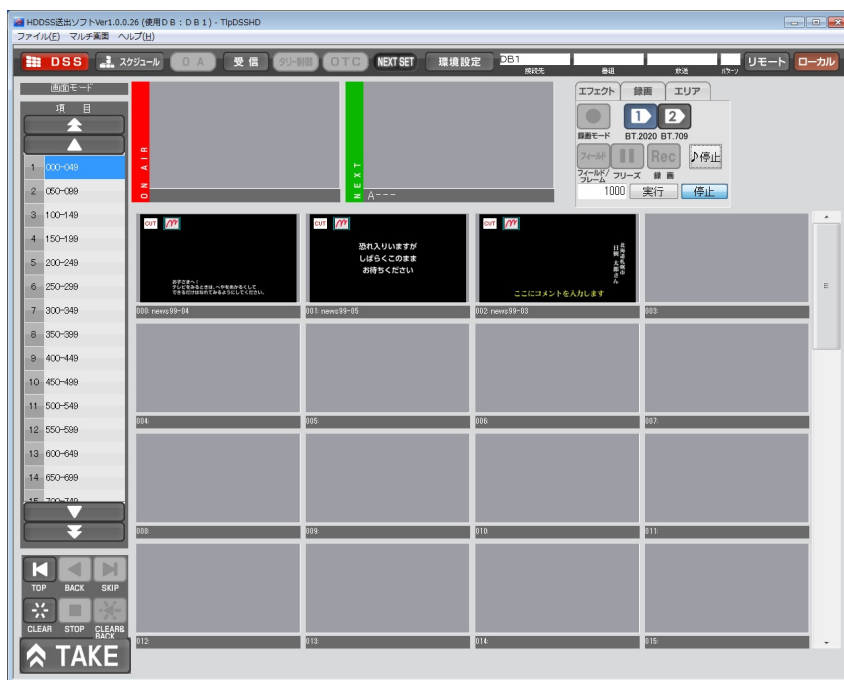
ダイレクトモードの場合は、クリックしたテロップを即座にオンエアに反映します。



3.2. グローバルアドレスに保存されたテロップの送出

3.2.1. DSS(グローバルアドレス)送出モード

【DSS】ボタンをクリックすると、画像登録ソフトでグローバルアドレスに保存したテロップの送出を行うモードに切り替えることができます。



切り替え時はデフォルトで【A】のアドレスが開かれます。

3.2.2. アドレスを切り替える

編集タブで、【エリア】タブをクリックします。アルファベットのプルダウンメニューより、送出したいアドレスのエリアを選択することができます。



3.2.3. オンエア

スケジュールモード時と同様に、送出したいアドレスのテロップを選択すると、ネクストテロップにセットされます。【TAKE】ボタンをクリックすることで送出が行えます。

ダイレクトモードの場合は、クリックしたテロップを即座に送出します。

3.2.4. グローバルアドレスを直接入力してオンエア

グローバルアドレスに保存されたテロップは、キーボードでアドレスを入力することで即座に送出することができます。スケジュールでの送出を行っている際に、割り込みでグローバルアドレスのテロップを送出したい場合などに便利です。

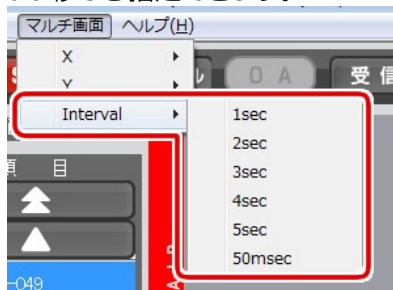
例えば「A900」に保存されたテロップを送出したい場合は、キーボードで【A900】と入力し【Enter】キーを押下すると、そのアドレスに保存されているテロップが、ネクストテロップとしてセットされます。【TAKE】ボタンをクリックすることで、割り込み送出が行えます。



3.3. 自動オンエア

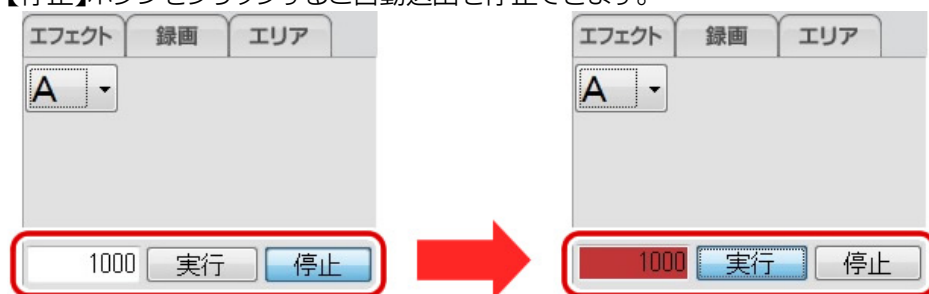
テロップを順に送出していくオンエア操作を自動で行うことができます。

【マルチ画面】メニューの【Interval】より、1枚のテロップの表示時間を指定できます。1～5秒／0.5秒から指定できます。



編集タブに、設定した表示時間がミリセック単位で表示されます。【実行】ボタンをクリックすると表示時間の背景が赤色に変わり、自動送出がスタートします。

【停止】ボタンをクリックすると自動送出を停止できます。



自動送出中

3.4. 送出ソフトを終了する

送出ソフトを終了する場合は【ファイル】メニューから【アプリケーションの終了】を選択、またはウィンドウ右上【×】ボタンをクリックします。

4. 改訂履歴

版数	作成日	改訂内容
1.0 版	2014/08	初版を作成
2.0 版	2019/08	ノート PC 対応により改定



日興通信株式会社

(C)2019,NIXUS Nikko Telecommunications Co., Ltd.

NIXUS は日興通信株式会社の登録商標です。